

2013年産USドライアンズ市況

世界のアンズは主にトルコ、イラン、中国で生産されており、左記3ヶ国で全体の生産総量の80%以上を占めています。また、アメリカ産アンズは全体の1~2%程度で、世界的に見て非常に生産量が少ないものになります。

昨年度、日本ではドライアンズを合計893トン輸入しています。全体の50~60%をトルコ産アンズが占めており、US産アンズはトルコ産に比べて価格が約2.5倍と高値にも関わらず、トルコ産アンズに次ぐ全体の約20%を占めています。

各国のアンズ生産量、及びドライアンズの輸入量

(単位:トン)

	2011年		2012年	
	生産量	日本の輸入量	生産量	日本の輸入量
トルコ	136,917	360	176,718	529
イラン	23,500	0	24,000	0
中国	5,700	129	6,000	80
アメリカ合衆国	2,600	169	1,500	206
南アフリカ	1,550	80	1,600	78
オーストラリア	650	0	700	0
その他	28,000	0	28,500	0.2
合計	198,917	738	239,018	893

(財務省貿易統計及びINC資料より抜粋)

日本で流通しているUS産アンズは主にブレンハイム種と呼ばれる品種で、カリフォルニアのホリスター地区で収穫されています。ブレンハイム種は甘味と酸味のバランスが良く味が濃厚で、ご使用頂いているお客様にご好評を得ていますが、現地では手収穫のため、栽培に手間がかかることや収益性が低いことから、他の作物へ転作する農家も増えており、希少な品種となっております。特に大粒サイズは収穫量全体の1~2%と言われており、年々確保が難しくなっています。

2013年度の収穫は7月上旬に行なわれ、既に収穫を終えています。収穫直前までは順調に生育がすすんでいましたが、収穫時期に発生した熱波の影響で、果実の成熟が急激に進み、落果が多く発生し、収穫が追いつかない状況となり、昨年に引き続き減産見込みです。

また、カリフォルニア州では労働者の最低賃金の賃上げや燃料コストの増加等により、現地価格も値上げが見込まれ、昨年と比べて為替が約20%円安となっている事から製品価格も昨年と比べ、大幅な値上げが想定されます。